

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 蟹江町立蟹江中学校 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	蟹江町立蟹江中学校 2年生 5学級 男子87名 女子90名 計177名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>(1) 大会の意義とそれを支える人々 世界的スポーツの祭典であるオリンピックやパラリンピックがどのような人たちによって支えられているかを考えることができる。</p> <p>(2) 多様性と国際理解 ―おもてなしを考える― 東京 2020 大会の開催にむけて、異なる文化や特徴をもった人たちを受け入れるために大切なことは何かを考えることができる。</p>
5 取組内容	<p>1 事前学習（2時間） 目標の(1)にむけて、東京 2020 大会を例に、各学級のグループでマインドマップを活用し、大会の意義と大会を支える人々について考えを広げた。また、オリンピックやパラリンピックについて知った。</p> <p>2 問題解決学習（2時間） 目標の(2)にむけて、世界からのゲストハウスの役割を果たすパナソニックセンター東京の”おもてなし”を例に、様々な側面からゲストにとっての問題を想像し、必要なおもてなしを考え、発表した。</p> <p>3 事後学習（掲示発表） 1で作成したマインドマップや2の発表で使用した紙面を廊下に掲示し、学級を超えて紹介し合った。</p>



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリパラの授業がもっと受けたい」「オリンピックを見に行きたい」などの声が多く聞こえ、興味をもつ生徒が増えたこと。 ・たくさんの支えがあることや大会に関わる仕事をしている人の熱意を知り、広い視点でオリンピックを見つめることができたこと。また、生活の中にある多くの支えに気付くことができたこと。 ・自分にできる「おもてなし」について考えることができた。また、仲間の「おもてなし」を聞き、考えを広げることができたこと。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Panasonic のオリパラ教材を活用した点。 ・オリンピック競技の映像や東京決定の瞬間をおさめた映像、滝川クリステルさんのプレゼンの映像などを活用した点。 ・学年（5学級）一斉授業にして、多くの教員で机間指導しながら、グループワークを活性化させた点。 ・付箋を活用してまとめをした点。 ・オリンピックの整備のために東京で働く生徒の保護者がいて、その話をした点。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックの開催にもっと近づいてから、取り組むと、さらに効果が上がったと思う。また、首里城の火災やマラソン、競歩競技が北海道開催となったニュースがあったので、それに合わせた取り組みをしていくことができれば、さらによいと思う。 ・より長い時間を確保できれば、よりよいと思う。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>東京方面へ修学旅行に行くため、オリパラに関連させたことが企画（スタジアム見学など）できるとよいと考えている。</p>